

(1996. 10—1997. 4)

Observation of Geomagnetic Total Force at Kusatsu-Shirane Volcano
(1996. 10–1997. 4)

気象庁地磁気観測所

Kakioka Magnetic Observatory

現在、地磁気観測所では草津白根山において山頂部3地点での全磁力連続観測と毎年一回の全磁力の繰り返し観測を実施している(第1図)。この観測は草津白根山の熱的状态の推移を見ることを目的としている。

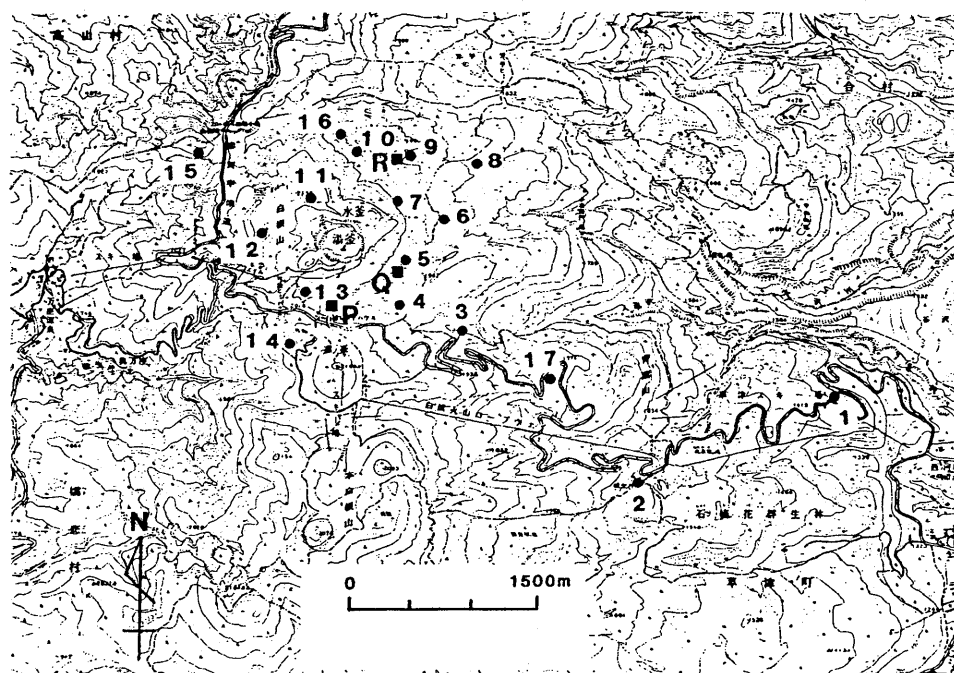
1996年9月までの観測結果についてはすでに報告してある¹⁾ので今回はそれ以降の観測結果について報告する。

第2図に連続観測点(P. Q. R.)のハケ岳地磁気観測所(ERI)を基準とした全磁力変化を示す。図の値は、夜間値(00h~02h JST)を用いて日平均値とし、さらに地磁気観測所(KMO)の地磁気水平成分に適当な数値フィルターを施し、永年変化分を除去した値を用いた外部磁場擾乱補正を行って求めている。

第3図は1996年9月以降の部分抜き出した図である。湯釜南側に位置するP、Q点のデータには大きな変化は見られない。一方、湯釜北側に位置するR点では1996年12月から減少傾向になり、1997年5月には減少前の値に戻っている。このような変化は昨年も見られた。

参考文献

- 1) 気象庁地磁気観測所 (1996) : 草津白根山における全磁力観測 (1996. 5-1996.9), 噴火予知連会報, 66, 53-54.



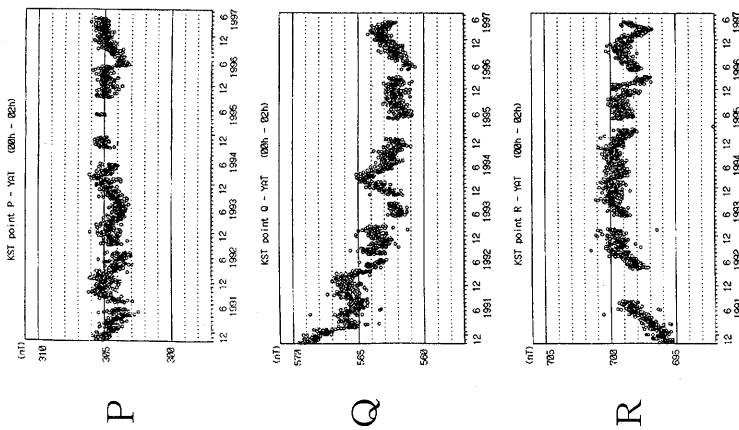
第1図 全磁気観測点配置図

■ 全磁力連続観測点 ● 全磁力繰り返し観測点

Fig. 1 The distribution of observation points of the geomagnetic total force.

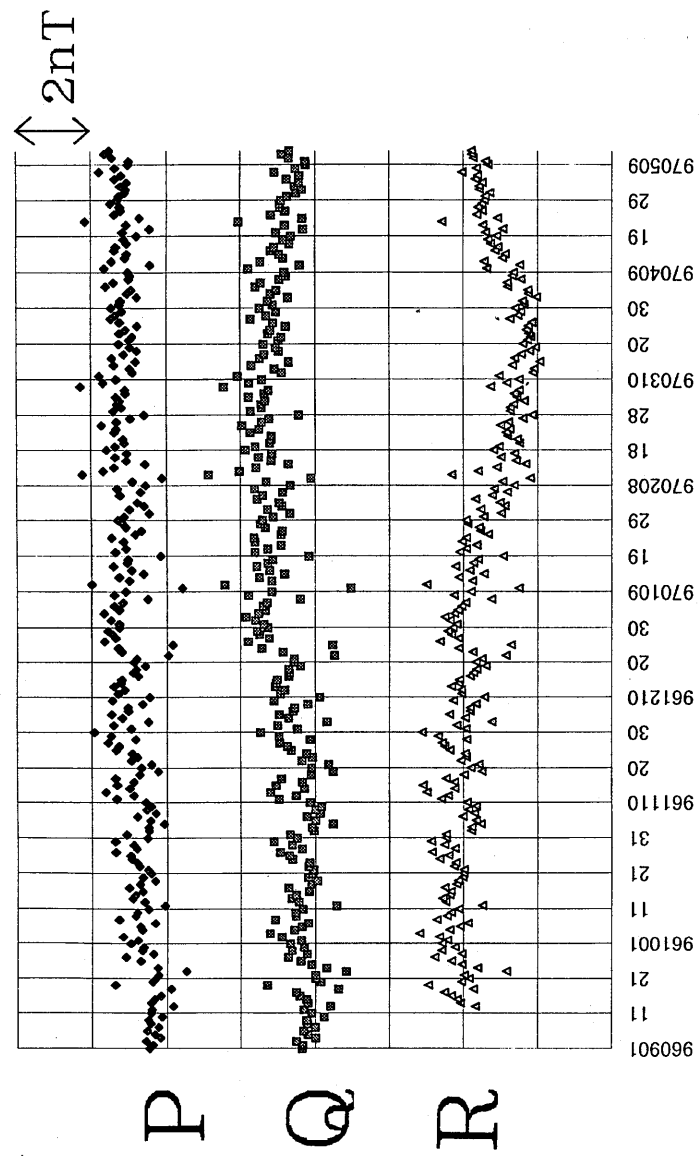
■ continuous observation ● repeat observation

*Received 31 July, 1997



第2図 ハケ岳地磁気観測所 (ERI) を基準にした連続観測点P, Q, R点における全磁力夜間値の変化 (KMOのH成分を用いて外部磁場擾乱の補正をしてある)

Fig. 2 Variations of the geomagnetic total force at continuous observation points P, Q, R relative to Yatsugatake Observatory (ERI). (The data are corrected using H-component at KMO to exclude the contribution of external origin.)



第3図 ハケ岳地磁気観測所 (ERI) を基準にした連続観測点P, Q, R点における全磁力夜間値の1996年9月以降の変化の比較 (KMOのH成分を用いて外部磁場擾乱の補正をしてある)。
縦軸1目盛り : 2 nT

Fig. 3 Comparison of the variations of the geomagnetic total force at continuous observation points P, Q, R relative to Yatsugatake Observatory (ERI) for the time after September 1996. (The data are corrected using H-component at KMO to exclude the contribution of external origin.) The scale of the ordinate : 2nT